本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

カシオ計算機株式会社

MA9904-A

CASIO

テレメモ/IDメモリー/Vital statisticsメモリー

1993*JA

取扱説明書

1993

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆本機の特長◆

●テレメモ
大切な人達の名前と連絡先(電話番号など)を最大20件記憶できます。

●IDメモリー
パスポートや免許証など身分を証明する大切な番号を最大20件記憶できます。

●Vital statisticsメモリー
自分の名前、血液型、生年月日を記憶できます。

●ELバックライト
暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。
アラームや時報の報知に合わせて明るく照らすこともできます。

●アラーム・時報報知
任意の時間にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

●ストップウオッチ
1/100秒単位で最大23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。



目　次

安全上のご注意
操作のしくみと表示の見方 ……4
ライト点灯について……5
名前部・数字部の入力のしかた……6
テレメモモードの使い方 ……9
IDモードの使い方 ……11
Vital statisticsモードの使い方 ……14
時刻・カレンダーの合わせ方……17
アラーム・時報の使い方 ……18
ストップウオッチの使い方……21

備忘録 ……22
製品仕様 ……24
ご使用上の注意 ……25
お手入れについて ……27
電池交換について ……27

操作のしくみと表示の見方　Ⓓボタンを押すごとにモードが切り替わります。

時刻・カレンダーモード

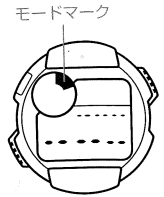


★グラフ表示…現在時刻の秒に合わせて1秒ごとに点灯／不点灯します。

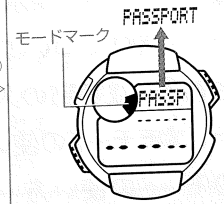
★曜日の見方

SUN	日	MON	月	TUE	火	WED	水
THU	木	FRI	金	SAT	土		

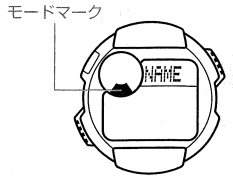
テレメモモード



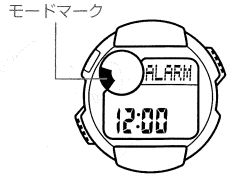
IDモード



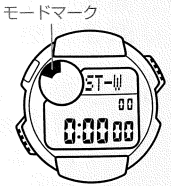
Vital statistics モード



アラームモード



ストップウオッチモード



■ライト点灯について

どのモードでも、Ⓛボタンを押すと文字板が約3秒間発光します。

※文字板発光中にⓁボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。ただし、Ⓛボタンを1～2分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。
※Ⓛボタンを強く押したとき、液晶表示が若干薄くなることがありますが、機能上問題はありません。



〈ご注意〉
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

名前部・数字部の入力のしかた

■名前部（文字）の入力

本機はテレメモモード、IDモード、Vital statisticsモード（“NAME”のみ）の名前（メモ）部に、文字入力ができます。

※テレメモモード、IDモードには**最大8文字**、Vital statisticsモードのNAMEには**最大20文字**まで文字入力ができます。

※入力できる文字は、**アルファベット**（A～Z）、**数字**（0～9）、**記号**（－、.、／、：、空白）です。

●名前部入力時の表示

入力表示にするには、各モードの「データ入力」をご覧ください。

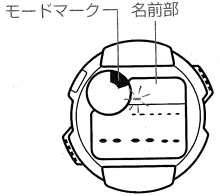
〈ご注意とお願い〉

本機は、電話番号、パスポート、免許証、クレジットカードなどの大切な番号を登録／呼び出しすることができます。ただし、これらの番号を登録した時計を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用される恐れがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。

なお、本機にクレジットカードなどの番号を登録する際は、他人にわからない形で入力することをおすすめします。

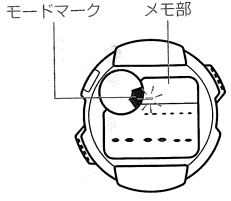
万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

テレメモモード



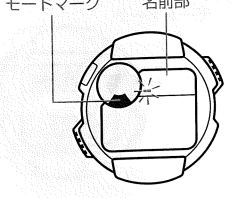
（→9ページ）

IDモード



（→11ページ）

Vital statisticsモード（“NAME”のみ）



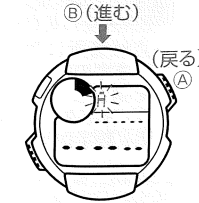
（→14ページ）

■名前入力のしかた

(1) 各モードの名前入力表示のとき、

Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します

→点滅箇所に文字が表示されますので、入れたい文字を選びます。
Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。

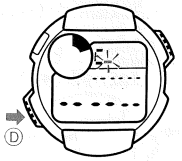


（例：テレメモモードのとき）

(2) 文字を選んだら、

Ⓓ ボタンを押します

→点滅箇所が右に1つ移動します。
Ⓓボタンを押し続けると、点滅箇所が早く移動します。



上記(1)～(2)を繰り返して名前を入力していきます。

※文字が点滅したまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

※テレメモモード、IDモードのときは、8文字すべて入力すると自動的に点滅箇所が数字部に移動しますので、引き続き数字部の入力ができます。入力した文字が7文字以下のときは、名前入力後、Ⓓボタンを何回か押して点滅箇所を数字部に移動させます。（下図）



■番号部(数字)の入力

本機はテレメモモードの電話番号部、IDモードの番号部に、最大12桁までの数字を入力できます。

●番号入力時の表示

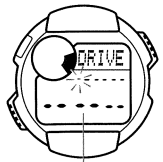
入力表示にするには、各モードでの「データ入力」をご覧ください。

テレメモモード



電話番号部（→9ページ）

IDモード



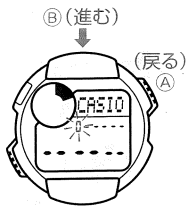
番号部（→11ページ）

■番号入力のしかた

(1) 各モードの番号入力表示のとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

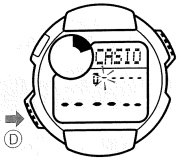
→点滅箇所に数字が表示されますので、入れたい数字を選びます。
Ⓐ·Ⓑボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。



(2) 数字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

→点滅箇所が右に1つ移動します。
Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。



上記(1)~(2)を繰り返して番号を入力していきます。

※数字が点滅したまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。
※12桁すべて入力すると自動的に点滅箇所が名前部に移動します。

テレメモモードの使い方

Ⓓボタンを押して、テレメモモードにします。
テレメモモードに切り替えると、前回最後に選んだデータを表示します。

■テレメモモードとは

名前と**電話番号**を同時に記憶できる機能です。
本機は、名前8文字、電話番号12桁を最大20件*まで記憶できます。

* 記憶件数は、「IDモード」のデータと合わせて最大20件となります。(例えば「IDモード」でデータを3本記憶しているときは、テレメモのデータは最大17本まで記憶できます)

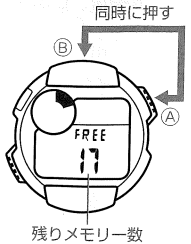
データを入力すると、名前順に並び変わりますので、データを探すときにたいへん便利です。
(10ページ「データの呼び出し」)

■残りメモリー数の確認

Ⓐ·Ⓑボタンを同時に押します

→Ⓐ·Ⓑボタンを押している間、残りメモリー数を表示します。

※工場出荷時に「IDモード」であらかじめ3本使用している(11ページ参照)ため、ご購入後すぐの残りメモリー数は17になります。

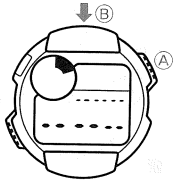


残りメモリー数

■データ入力

(1) 空ページを探す

ⒶまたはⒷボタンを押します



(空ページ)

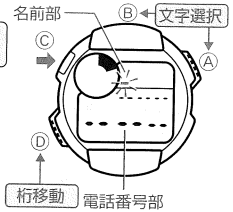
※空ページがないときは、名前部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。
(10ページ「データの消去」参照)



(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを押します

→6ページ「名前部の入力」を参照して名前を、8ページ「番号部の入力」を参照して電話番号を入力します。



(3) 入力を終わる

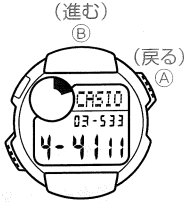
Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力したデータを表示します。

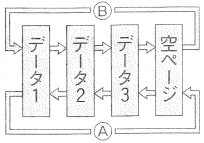
※ 名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※ 続けてデータを入力したいときは、(1)～(3)を繰り返し行ないます。
※ 入力したデータは名前順に並び変えられます。

■データの呼び出し

ⒶまたはⒷボタンを押します



※ Ⓑボタンを押すごとに名前順に進み、Ⓐボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



※データを3本入力しているとき

■データの修正

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを押して、入力表示にします。
(3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
(4) 修正後、Ⓒボタンを押します。

■データの消去

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを押して、入力表示にします。
(3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
※ 確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

IDモードの使い方

Ⓓボタンを押して、IDモードにします。
IDモードに切り替えると、前回最後に選んだデータを表示します。

■IDモードとは

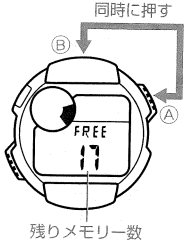
パスポート、免許証、クレジットカードなどの番号を最大20件*まで記憶できる機能です。各項目の後に最大8文字までメモを記憶することもできます。
* 記憶件数は、「テレメモモード」のデータと合わせて最大20件までとなります。(例えば「テレメモモード」でデータを3本記憶しているときは、IDデータは最大17件まで記憶できます)

データを入力すると、項目別に並び変わりますので、データを探すときにたいへん便利です。
(13ページ「データの呼び出し」参照)

■残りメモリー数の確認

Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します

→Ⓐ・Ⓑボタンを押している間、残りメモリー数を表示します。



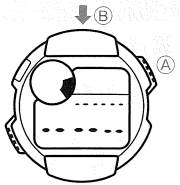
※ 工場出荷時に「IDモード」であらかじめ3本使用している★ため、ご購入後すぐの残りメモリー数は17になります。

★ 工場出荷時に、IDモードで入力できる項目(PASSPORT、LICENSE、CREDIT)があらかじめ1つずつ入力されています。
必要ないときは、それぞれの項目を消すこともできます。
(13ページ「データの消去」参照)

■データ入力

(1) 空ページを探す

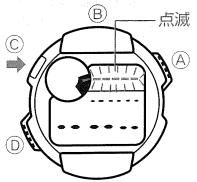
Ⓐまたは Ⓑボタンを押します



※空ページがないときは、メモ部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。
(13ページ「データの消去」参照)

(2) 入力表示にする

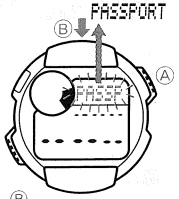
Ⓒボタンを押します



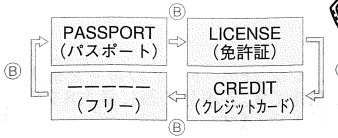
→ “－－－－－”が点滅します。

(3) 項目を選ぶ

Ⓑボタンを押します

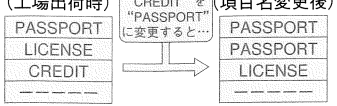


→Ⓑボタンを押すごとに以下の順で項目が変わりますので、入力したい項目を選びます。



※Ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも、押し続けると早く進みます。

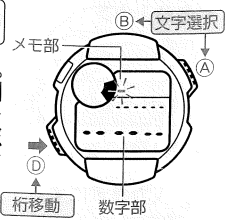
〈参考～使用しない項目名は～〉
本機にはあらかじめ3つの項目名(PASSPORT、LICENSE、CREDIT)が入力されています。使用しない項目名があるときは、以下の手順で他の項目名に変えることができます。
(1) Ⓑボタンで使用しない項目名を選んでから、Ⓒボタンを押します。
(2) Ⓑボタンを押して、変えたい項目名を選びます。
(3) Ⓒボタンを押して、点滅を止めます。



※ なお・不要な項目は13ページ「データの消去」により消すこともできます。

(4) 入力を始める

Ⓓボタンを押します



→メモ1桁目が点滅します。6ページ「名前部の入力」を参照してメモを、8ページ「番号部の入力」を参照して数字をそれぞれ入力します。

※ メモに文字を入力しないときはⒹボタンを何回か押して数字部を点滅させます。

(5) 入力を終わる

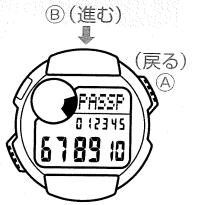
Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力したデータを表示します。

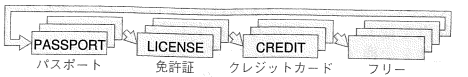
※ メモ部を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※ 続けてデータを入力したいときは、上記(1)～(5)を繰り返し行ないます。
※ 入力したデータは項目順に並び変えられます。
※ 項目内ではメモの頭文字から比較して、「空白→アルファベット→数字→記号」の順で並べられます。

■データの呼び出し

ⒷまたはⒶボタンを押します



→Ⓑボタンを押すごとに項目順に進み、Ⓐボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



■データの修正

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを押して、入力表示にします。
(3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
(4) 修正後、Ⓒボタンを押します。

■データの消去

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを押して、入力表示にします。
(3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
※ 確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

Vital statisticsモードの使い方

Ⓓボタンを押して、Vital statisticsモードにします。
Vital statisticsモードに切り替えると、“NAME”を表示します。

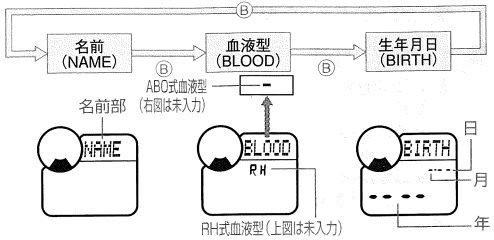
Vital statisticsモードでは、自分の名前（最大20文字）、血液型（ABO式／RH式）、生年月日を記憶できます。

※ Vital statisticsモードには、自分のデータのみを入力してください。他人のデータを入れたり、自分のデータを入れた時計を他人に貸したりしないようにしてください。
※ 電池を交換すると、入力したデータはすべて消えてしまいます。電池交換後は再度データを入力してください。

■各データの呼び出し

Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに以下の順で表示が変わります。
※ Ⓐボタンを押すと、逆方向に進みます。



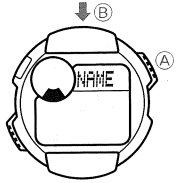
■データ入力

＜名前入力＞

(1) データを選ぶ

ⒷまたはⒶボタンを押します

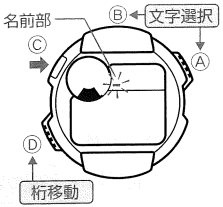
→“NAME”表示を選びます。



(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを押します

→名前部が点滅します。



6ページ「名前部の入力」を参照して名前を入力します。

※ 入力表示のとき、Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押すと、入力した名前が消されます。

(3) 入力を終わる

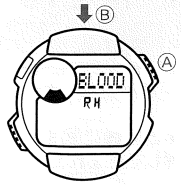
Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力した名前を表示します。
※ 名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

＜血液型入力＞

(1) データを選ぶ

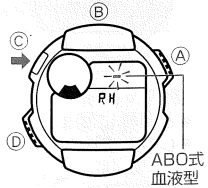
ⒷまたはⒶボタンを押します



→“BLOOD”表示を選びます。
※ 上段に「ABO式」、下段に「RH式」血液型を表示します。
未入力の時は上段に“－”、下段に“RH”のみを表示します。

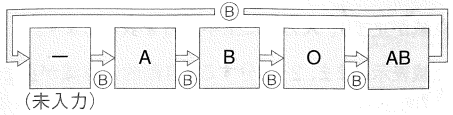
(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを押します



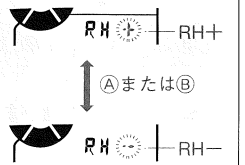
→ABO式血液型が点滅します。

Ⓑボタンを押すと、以下の順で変わります。表示したい血液型を選びます。



※Ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早く進みます。

☆RH－のときは
血液型（A、B、O、ABのいずれか）を選んだ後にⒹボタンを押すと、“＋”が点滅します。
このときⒶまたはⒷボタンを押すと“－”に変わり、RH－を選ぶことができます。（もう一度押すと“＋”に戻ります）

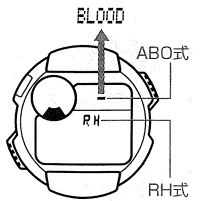


(3) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力した血液型を表示します。
※点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

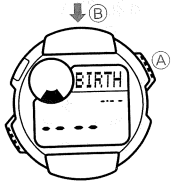
＜ご注意＞
電池交換後など、データが入力されていないときの血液型は右記のようになります。
この表示は“RH－”を表示したものではなく、データ未入力を意味しています。データ未入力のままでは、ご自分のデータと違う血液型だと誤解されることがありますので、ご自分の正確なデータを入力しておくようおすすめいたします。



＜生年月日入力＞

(1) データを選ぶ

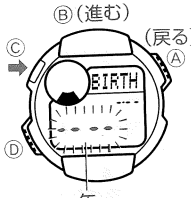
Ⓑまたは Ⓐボタンを押します



→“BIRTH”表示を選びます。

(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを押します



→年が点滅します。

Ⓑボタンを押すごとに数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。逆方向に進めるときはⒶボタンを押します。ⒷまたはⒶボタンを押して、生まれた年を選びます。

※年は西暦で表示します。1900年から2039年の範囲内で選べます。

(3) 月を入力する

年入力後、Ⓓボタンを押します

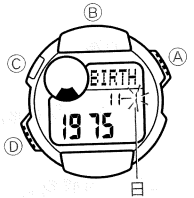


→月が点滅します。

年と同様にⒷまたはⒶボタンを押して生まれた月を選びます。

(4) 日を入力する

月入力後、Ⓓボタンを押します



→日が点滅します。

年と同様にⒷまたはⒶボタンを押して生まれた日を選びます。

(5) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力した生年月日を表示します。

※点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

■時刻の合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒボタンを押します



→「秒」が点滅します。

●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて、Ⓑボタンを押します



→「00」秒からスタートします。

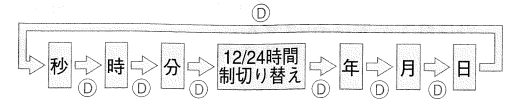
秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

●「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓓボタンを押します



→点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



b. Ⓑボタンを押します



→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※Ⓑボタンは押し続けると早く進みます。

上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後(P)または24時間制にご注意ください。

★「年」は西暦で1995～2039年の範囲内でセットできます。

★「12／24時間制切り替え」のときは、Ⓑボタンを押すごとに「12H」⟷「24H」と切り替わります。
なお、アラーム時刻もここで選んだ時制で表示されます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(2) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方

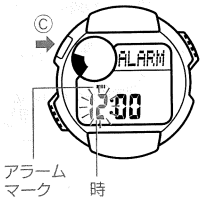
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

準備：Ⓓボタンを押してアラームモードにします。

(1) Ⓒボタンを押します

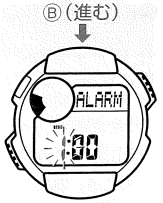
→「時」が点滅します。
※このときアラームマーク( )が点灯します。



(2) Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すと「時」が進みますので、セットしたい時刻を表示させます。

※押し続けると早く進みます。



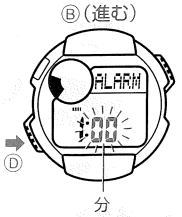
★「時」のセットのとき午前／午後(P)にご注意ください。
★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) Ⓓボタンを押します

→「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にしてⒷボタンを押して数字を選びます。

※もう一度Ⓓボタンを押すと「時」が点滅します。



(4) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ・Ⓛボタンのいずれか1つを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのときにⒶボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

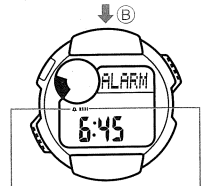
※“ ✥ ”が点灯しているときは報音と同時に文字板が発光します。

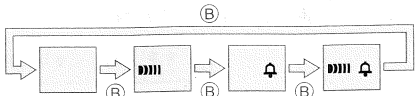


■アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：Ⓓボタンを押してアラームモードにします。

Ⓑボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯／不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。





※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。
※アラーム・時報が“ON”で、ELシグナルも“ON”（✵ 点灯）のときは、報音のタイミングに合わせて文字板が発光します。

●ELシグナルON/OFF

ELシグナルON（✵ 点灯）のとき、アラーム・時報の報音タイミングに合わせて文字板が発光します。

ELシグナルONにするには、時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを1～2秒間押し続けます。（確認音が鳴り“✵”が点灯します）
※もう一度同じ操作をすると、“✵”が消えてELシグナルOFFになります。



＜ご注意＞
電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがありますが、故障ではありません。

ストップウオッチの使い方

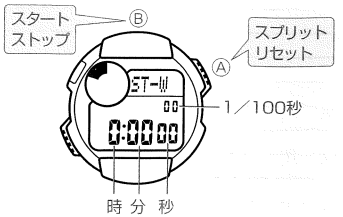
本機のストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

■計測のしかた

準備：Ⓓボタンを押してストップウオッチモードにします。

Ⓑボタンを押すごとに計測開始／終了します

※計測中にⒶボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度Ⓐボタンを押すとスプリットが解除されます。
*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。

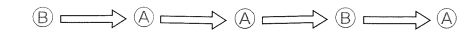


●通常計測



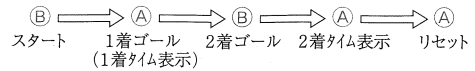
＜積算計測＞
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）





●1・2着同時計測



備忘録

万一に備え、メモリーしてあるデータをこの備忘録にメモしておくことをおすすめします。

name	TEL

name	TEL

MEMO

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±30秒以内

表示方式：FE型液晶デジタル表示

基本機能：年・月・日・曜日、時・分・秒、
午前／午後P／24時間制表示(24)、
フルオートカレンダー(1995～2039年)

テレメモ機能：名前(8文字)と電話番号(12桁)を最大20件*までメモリー
自動ソート機能、残りメモリー数表示

ID機能：パスポート(PASSPORT)、免許証(LICENSE)、クレジットカード(CREDIT)などのメモ(最大8文字)と番号(12桁)を最大20件*までメモリー、項目別自動ソート機能、残りメモリー数表示

注＊ メモリー数は、テレメモデータとIDデータを合わせて最大20件となります。

Vital statistics機能：名前（最大20文字)、血液型（ABO式／RH式)、生年月日をメモリー

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に電子音で報時

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト点灯

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：CR-2016(電池別途販売)

電池寿命：約2年
(ライト4秒間／日使用した場合)

ご使用上の注意

■防　水　性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バ　ン　ド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温　　度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると、故障の原因となります。

■磁　　気

●磁気の影響はありません。

■薬　品　類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保　　管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用としているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）
※電池交換を行うと、本機に記憶されているデータは消えてしまいます。大切なデータはノートなどに書き写しておくことをおすすめします。